

NPO 風の家 + ぶらっと広島

矯正施設出所者等への社会生活支援事業

ニュースレター 設立準備創刊号

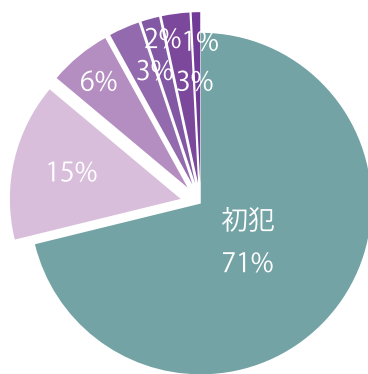
平成22年9月14日

なぜ私たちは「風の家」を立ち上げたのか？

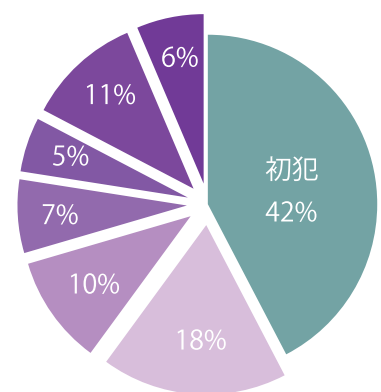
“ 再犯防止が犯罪の抑制と安全な社会の実現に寄与する。 ”

我が国はこれまで、世界でも有数の治安の良い国とされてきました。しかし、このところの刑法犯の発生率は高い水準を維持しています。平成19年度の「犯罪白書」によれば、中でも、全犯罪件数の約60%の犯罪が全犯罪者の約30%にあたる再犯者によって行われています。犯罪を防止し、地域社会の安全を築くためには、再犯者の健全な社会復帰を促進することが課題であると考えられます。

犯罪者における再犯者の割合



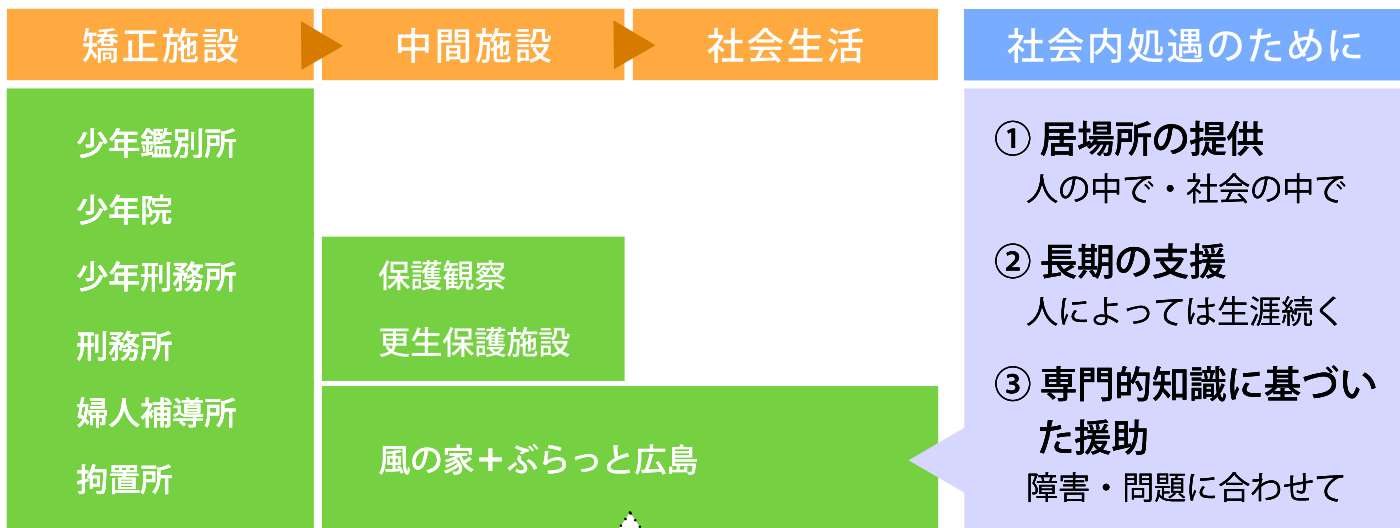
犯罪件数における再犯件数の割合



● 初犯 ● 2犯 ● 3犯 ● 4犯
● 5犯 ● 6-9犯 ● 10犯以上

賛助会員募集
+
寄付のお願い

「ぶらっと広島」における活動の一部は、独立行政法人福祉医療機構による社会福祉振興助成事業の支援を受けています。しかし、これらの活動はさらに多くの方からの力添えを必要としています。私たちの活動に賛同してくださる個人、企業のみなさまには、賛助会員として、あるいは寄付を通じて、この活動を支えていただきたいと願っています。地域からの支援を得て、この活動を社会に根ざしたものとしていきたいと考えております。お問い合わせは裏面の連絡先までご連絡下さい。



私たちはこのような矯正施設出所者等の社会復帰を支援しています

対象者

知的障害を抱えた人
 発達障害を抱えた人
 高齢者
 一部の精神障害を抱えた人
 青少年

状態

帰住先を持たない
 対人関係に問題がある
 自立した生活を送るのが難しい
 障害に合わせた支援を必要とする

支援の方法

住居・就労の支援
 日常生活の支援
 心理療法・カウンセリング
 教育・学習の支援

“再犯防止に必要な社会内処遇の3つの要素。それを提供する場となること。”

少年院、刑務所等の施設を出て社会復帰に至る道筋はいくつかあります。1つは家族などのもとに帰住すること。別の1つは更生保護施設などの中間施設を頼ること。いずれにおいても、本人の努力に加え、周囲の支援が欠かせません。

しかしながら、ここに多くの困難があるために再犯に至る人が現れて来ます。

その1つは、対人関係の問題です。帰住先がない、家族や親戚との関係が悪い、という現実的な問題から、対人関係のスキルがないという心理社会的問題、さらには共感性の欠如のような、より心理的な問題まで、さまざまな水準で問題が横たわっています。対人関係は人を社会につなぎ止める絆であり、港です。その障害は犯罪の発生を高めます。

もう1つの困難は、社会内処遇を継続的にこなす場所がないことです。更生のためにどうすれば良いのか、という矯正処遇は施設の中では行われています。しかし、再犯を防ぐ上では、こうした活動を社会生活の中に引き継ぎ、社会内処遇として行なうことが求められます。様々な刺激にさらされることそのものが、更生にとっての大きな障害なのです。

さらにもう1つの困難は、専門的な監督、支援を受けるあてがないことです。出所者の中でも特に知的、発達の、精神的障害を抱えた人は、自らの努力だけでは社会生活を送ることができません。衝動のコントロール、社会の常識、金銭の管理、といった様々な水準で専門的な助けを必要とします。現在の制度では、専門的な支援には時間的な制約があり、例えば更生保護施設での関わりは6ヵ月を超えません。その後の支援は本人の自発的な努力によってのみ可能となり、ここに再犯のリスクが存在します。

私たちは、犯罪者の社会復帰の前に横たわったこうした困難にたびたび直面して来ました。その経験から、再犯防止のための社会内処遇には、居場所を提供し、人間行動学的な専門知識に基づいた、長期の支援が必要であると考えようになりました。少年院、更生保護施設の所長を歴任した代表者のもと、平成21年「ぶらっと広島」を開設し、今年、これをNPO法人「風の家」として社会に根ざした活動にしようとしています。一つでも多くの再犯防止に寄与できるよう、努力を重ねていきたいと思えます。



NPO 風の家
 広島市中区大手町
 ぶらっと広島
 広島市中区舟入町
 burattoin@gmail.com

お問い合わせはメールをお願いします。